

玉井小だより

平成28年6月3日
大玉村立玉井小学校
TEL (48) 3302
発行者 校長 佐藤一男

菊地繁子先生の書写指導スタート



【特別講師の菊地繁子先生】

6月1日(水)から、大山地区にお住まいの書家菊地繁子先生をお迎えし、書写のご指導を頂いています。今月の13日まで、3年生から6年生の各クラスで指導していただく予定です。子どもたちは、今、たなばた展に出品する作品に取り組んでいます。専門家の指導を素直に聞き、一生懸命練習しています。

地域の先生からご指導いただくことは、地域の方へのあこがれや尊敬の念を深めることにもなります。そして、地域に対する誇りを育むことにつながると考えています。

「地域とともにある学校」「地域とともに歩む学校」でありたいと考えています。

昨年の3倍の収穫を目標に

幼稚園の隣にある畑に、一昨日は2年生が、そして昨日は1年生がサツマイモの苗を植えました。

子どもたちは、

「サツマイモができれば、イモご飯のおにぎりをつくって食べたいな。」とか「お水をいっぱいあげるんだ。」などと友達と話しながら、楽しそうに苗を植えました。

5月中旬から、用務員の國分先生が、畑の石を拾いながらいねいに耕し、きれいに畝をつくってくれました。わざわざ



【サツマイモの苗植え】

ざ大山の自宅からトラクターをもってきたり、畝をつくる機械を借りてきたりと大変な作業でした。さらに、子どもたちが毎日水やりができるようにと、ホースを伸ばして、水を引いてくれました。これで、また子どもたちの活動が広がります。

子どもたちの学習は、このようにいろいろな人のていねいな仕事に支えられています。

昨年、拓いたばかりの畑なので、どれくらい獲れるかは分かりませんが、國分先生は、昨年の3倍の収穫を目標にしていると頑張ってくれています。秋の芋掘りで子どもたちのよろこぶ顔を見るのが、今から楽しみです。

お知らせ

『昭和63年度の卒業生のみなさん、ありがとうございます』

4月のPTA全体会でお知らせしましたが、玉井小学校の昭和63年度の卒業生のみなさんから、『真田昌幸』『一つの花』など15冊、2万円分の児童図書をご寄付いただきました。本当にありがとうございました。

子どもたちがみなさんに大事にしていることを、きちんと教えていきたいと思います。



【寄贈していただいた児童図書】

スウェーデンからのお友達

今年もスウェーデンから、お友達がやってきます。アーリングエル・ミモさんです。昨年の夏も、ミモさんは玉井小で1ヶ月くらい過ごしました。今年も夏休みに、玉井小に来るのを心待ちにしていたとのことです。今年は、ミモさんの弟のアーリングエル・ロエさん、そして妹のアーリングエル・ニヴァリさんも一緒に来ることになりました。6月中旬から8月の初旬まで、大玉村に滞在します。1学期の終業式まで本校で、子どもたちと一緒に過ごす予定です。ミモさんは5年1組で、ロエさんは3年2組で、そしてニヴァさんは幼稚園の年少組で生活します。

子どもたちが大人になる頃には、外国の人と一緒に働くようなことが当たり前になるのかもしれませんが。本校の子どもたちのためにも、とてもいい経験になると思っています。

どうぞよろしくお願いします。